

市長の「きかせて!みらいのこえ」スタート！

問秘書課☎0176-51-6780

「市長の『きかせて！みらいのこえ』」は、未来のまちづくりに向けて、市内の子ども・若者の声を櫻田百合子市長が直接聴き、今後のまちづくりに生かす取り組みです。第１回目は、９月14日に市立第一中学校で実施しました。参加した全校生徒の皆さんからは、日頃感じていることや困っていることなど、率直な意見が寄せられました。

生徒の皆さんが「きかせて」くれたこと

十和田市の魅力

奥入瀬渓流の豊かな自然や、地域の人の温かさが挙げられました。

あったらうれしい場所・もの

水族館やアニメ・漫画関連のお店、Wi-Fi環境が整い静かに勉強できる場所を望む声がありました。

登下校や地域の安全面

バス停から自宅までの道が暗いことや、路面の凹凸（おうとつ）が多く自転車で通行する際に不安があることなどの意見が寄せられました。



櫻田市長から第一中学校の皆さんへ

生徒の皆さんが、市民の一人として、地域やまちづくりを身近にとらえ、「自分たちにもできること」について、考えるきっかけになればいいなと思います。



意見を聴いた後、３年生と一緒に給食をいただきました♪

ご協力ありがとうございました

これからも、市内のいろいろな所へ伺います。皆さんの声をぜひ「きかせて」ください！

十和田市創業支援　空き店舗等活用事業者を紹介します

問産業振興課☎0176-51-6773

市では、創業による地域活性化と雇用創出のために、創業希望者に対する支援を行っています。今号では、市外から移住し、令和７年度に「十和田市創業支援・空き店舗等活用事業補助金」を利用して新規創業した事業者を紹介します。

セルフ写真館 ソロピック solopic



スタッフの居ない写真館。機材がセットされているため、ボタンを押すだけでプロ級の写真が撮影できます。

◎誰とも会わないので恥ずかしさ０（ゼロ）。ここでなら何のためらいもなく思い出が残せます。

●創業した理由（オーナー　三部（みべ） 暖（はんと） さん）

十和田市の地域課題に対して、自分起点でSNSを活用して貢献したいと思い移住しました。地元の高校生から、中心街にプリクラを撮る場所がないという声を聞き、彼らの思い出づくりや街の活性化に何かできないかと考え、気軽に撮影ができるセルフ写真館を開業しました。

場所：稲生町12-34　営業時間：24時間営業　定休日なし（予約制）　Instagram：@_solopic

リバティ LIBERTY



なんでも屋です。草刈り、不用品の片付け、荷物の移動、簡単な修繕、各種お手伝いなど、さまざまなお困りごとの支援を行っています。

◎「これ、どこに頼めばいいんだろう？」大げさなことじゃないけれど、ひとりではちょっと面倒なこと。そんなときは気軽に相談してください。小さなことでも構いません。

●創業した理由（店主　オサナイ ケンタロウ さん）

地元である十和田で頑張っている母親の力になりたいこと、いろいろな思いとタイミングが重なって、Ｕターン移住を決意しました。帰ってきてからは、母親だけでなく皆さんの困りごとへも幅広く支援するために今のお店を開業しました。

場所：稲生町12-43　営業時間：午前９時～午後５時　土・日曜日、祝日定休　Instagram：@liberty.twd　☎090-6472-2239